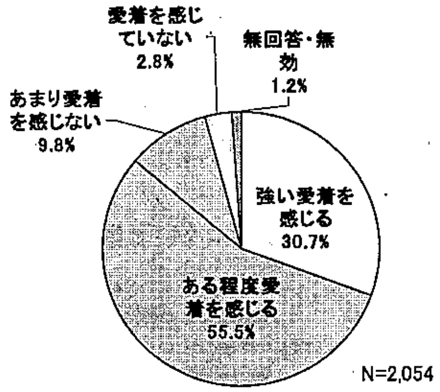
3　まちづくり市民アンケート

本総合計画の策定に資する基礎資料を得るため、また、市民の意識や意見を様々な角度から把握し、今後のまちづくりに反映することを目的に、まちづくり市民アンケートを実施しました。結果概要は以下のとおりです。

項　目	内　容
調査時期	平成20年7月
調査区域	村上市全域
調査対象	市内在住の満20歳以上の5，000人
調査方法	郵送法による調査
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
回 収 率	41．08%

(1) 地域への愛着度

● 地域に愛着を感じている市民は８割強



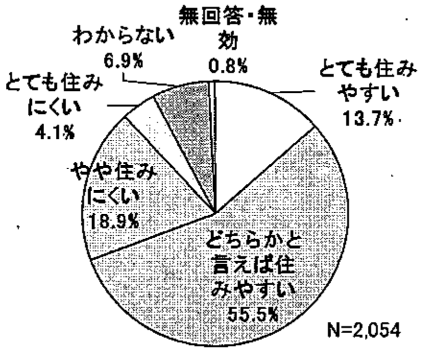
「現在住んでいる地域に愛着を感じているか」という質問については、「強い愛着を感じる」が30．7%、「ある程度愛着を感じる」が55．5%で、合わせて86．2%の市民が地域に愛着を感じている結果となっています。

また、年代的には、年代が高くなるほど地域に愛着を感じています。

資料編

(2) 住みやすさ

- **村上市が住みやすいと感じる市民は約７割**
- **住みやすいと感じるところは、「自然が豊か」、「海や山の幸に恵まれ食が豊か」、「災害が少ない」など**
- **住みにくいと感じるところは、「魅力ある働く場がない」、「バスや鉄道などの交通の便が良くない」、「老後の生活が不安」など**

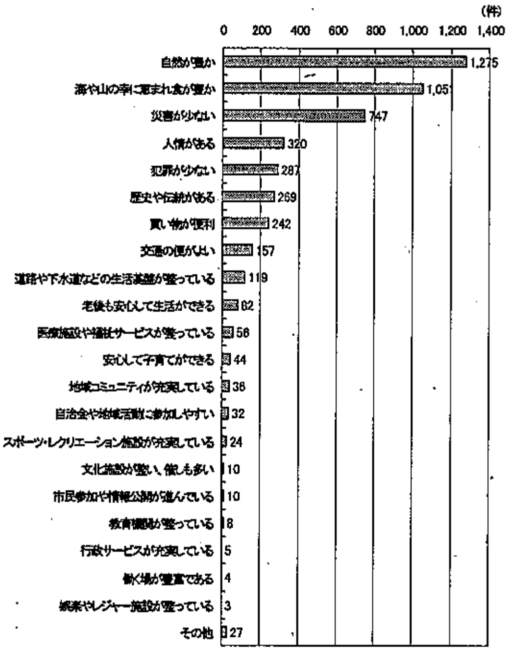


「村上市が住みやすいと感じているか」という質問については、「とても住みよい」が13．7%、「どちらかと言えば住みやすい」が55．5%で、合わせて69．2%の市民が住みやすいと感じています。また、地域への愛着度同様に、年代が高いほど住み良さを感じる傾向にあります。

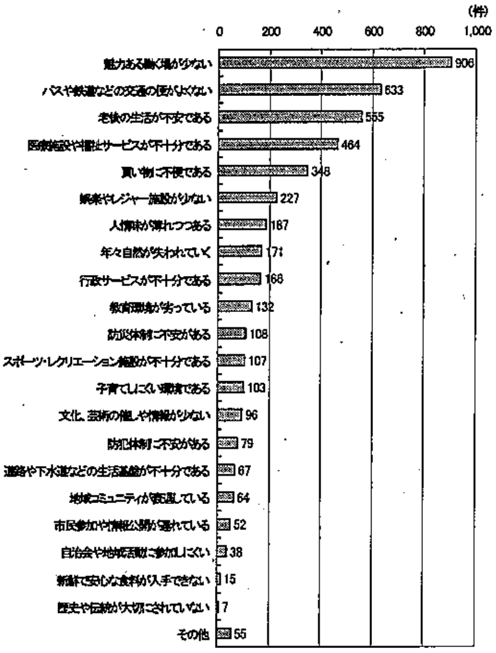
住みやすい感じる理由は、「自然が豊か」が26．5%、「海や山の幸に恵まれ食が豊か」が21．9%、「災害が少ない」が15．5%の順となっています。

一方、住みにくいと感じる理由は、「魅力ある働く場が少ない」が19．8%、「バスや鉄道などの交通の便が良くない」が13．8%、「老後の生活が不安」が12．1%の順となっています。

住みやすいと感じる理由



住みにくいと感じる理由



基本構想　１３・１４ページに記載

資料編